

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	京都明德高等学校
所在地	京都市西京区大枝東長町3-8
電話番号	075-331-3361

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>この法人は、日蓮聖人生誕700年記念事業として本園寺により設立された。教育基本法及び学校教育法に従い、宗教的情操の涵養に努める。建学の精神「明知を以て明德を實踐する」を現代に生かし「傍を樂にするづくり」をミッションとし、将来の生き方につながる職業観の育成に努め、国民の資質を向上せしむる教育をおこなう。</p>																																										
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>普通科と商業科を有する本校は、人間中心のイノベーション「ひとイノベーション」で優れた教育機関を目指す。急激な社会変化に対応すべく、多様な可能性を遠心力により強化し、異質の価値観や異質の文明を流入し求心力を維持していく「創造する空間としての場」となる学校づくりを展開する。従来より全教科ICT教育に力を入れているが、令和6年度DXハイスクールに採択されることで、さらなる発展が望まれる。探究型学習・キャリア教育・アクティブラーニング型授業による授業改革を進め、主体的・協働的な課題発見・課題解決型の授業のもと、思考力・判断力・表現力、そして学びに向かう力を育む。コースは特色ある5コースを設定している。全国に類を見ない「スポーツマネジメントコース」では、スポーツをビジネスの視点で学び、普通科では、特進・準特・総合と志望大学の難易度ごとに対応できる特別カリキュラムを設定した3コースを用意している。商業科では資格取得からの難関大学に向かう進学型商業科の確立など、多様な学びによる多様な進路実現を果たしている。部活動は、強化指定10クラブを中心に数多く展開。また、特進クラスも部活加入ができる文武両道の環境整備を図る。卒業後の進路先は、国公立大学をはじめとする大学、短大、専門、就職と多岐にわたる。大学スカラシップ・ガイダンス・マンツーマンカウンセリングといった独自のキャリアサポートにて、生徒の進路満足度100%を目指す。「利他精神」を軸に、生徒一人ひとりに、寄り添い、面倒見の良い、保護者の皆様からの信頼を得る地域に根差した学校であり続ける。</p>																																										
<p>(3) 令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり</p> <p>・前回改定 平成 21 年度</p>	<table border="1"> <tr> <td>【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費(入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等*(経常的)</td> <td>計(入学時除く)</td> <td>考查料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>90,000</td> <td>70,000</td> <td>510,000</td> <td>138,000</td> <td>648,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等*(経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>531,000</td> <td>96,000</td> <td>627,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等*(経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>531,000</td> <td>96,000</td> <td>627,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費(入学時)	授業料	施設拡充費等*(経常的)	計(入学時除く)	考查料		90,000	70,000	510,000	138,000	648,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等*(経常的)	計					531,000	96,000	627,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等*(経常的)	計					531,000	96,000	627,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費(入学時)	授業料	施設拡充費等*(経常的)	計(入学時除く)	考查料																																					
	90,000	70,000	510,000	138,000	648,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等*(経常的)	計																																						
			531,000	96,000	627,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等*(経常的)	計																																						
			531,000	96,000	627,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>これまで、本校の授業料については、京都府内の私立高等学校の平均授業料を下回るように設定している。この背景には、日本経済が景気回復基調にあるとはいえ、多くの一般府民の経済状況が好転していない状況がある。この状況を勘案し、今後も平均授業料を下回るように設定していくと同時に、長期休暇中の大学進学講座の受講費・教材費の無料化、修学旅行を海外から国内への転換による、旅行費用の引き下げなど、全体的な保護者負担の軽減を目指した取り組みを行っていく。また、本学園独自の支援金として、完全給付型の奨学金制度を充実させることで、さらなる保護者負担の軽減を今後も実現させていく。学費に関係なく、従来以上の良質なサービスを提供できるよう精進していく。</p>																																										
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>【教育内容】未来の創り手となるために必要な資質・能力(主体性・協働性・創造性)を確実に備えることのできる学校教育を実現する。中でも、校舎内Wi-Fi環境整備、普通教室のプロジェクタ常設、学習用動画コンテンツ配信など、ICT(情報活用)教育に力を入れる。使用媒体は、生徒個人のスマートフォンを利用することで、タブレットやノートPCの新規購入の費用を抑える。令和6年度DXハイスクールに採択され、DX人材の育成に相応しい新たな教室を整備した。</p> <p>京都市内唯一の経営・経済系列の専門学科設置校の特性を活かし、普通科でも「大学の経営学・経済学の学び」「パソコン・簿記」といった資格取得に力を入れる。専門学科では、国公立大学・難関私大など多くの生徒が、上級資格を利用した大学進学を実現している。新たに設立した専門学科スポーツマネジメントコースでは、ビジネスの視点でスポーツ振興に貢献する人材育成を目指す。文部科学大臣表彰を受賞したキャリア教育を軸に「大学現役合格」「就職内定率100%」とすべてのニーズに応える進路指導により、商業科、普通科の併設校でありながら、大学等進学率は約80%と高い数字を達成している。同時に、逞しく社会で活躍できる「学校づくり・人づくり・教育づくり」を目指す。</p> <p>【施設整備】平成28年度から、トイレの洋式化、体育館屋根の補修、学園ホール空調の更新、全ホームルーム教室に天吊りプロジェクター設置、全教室ホワイトボード黒板、体育館空調システム、人工芝グラウンド、校内Wi-Fi環境、北大路エリアスクールバス、伏見・中書島エリアスクールバス、久世・神川エリアスクールバス、食育に力を入れる食堂リニューアル、コンビニエンスストア自動販売機設置、HR教室・体育館・校舎内LED化、PC教室リニューアル、廊下カーペット張替え、アクティブラーニング(自習室)、HR教室床タイルカーペット、ハイスベックのICT環境整備を施したDXルームを整備している。令和7年度は、学習環境の整備として、デザイン性の高い机・椅子を配備、食堂のカフェテリア化など、生徒のモチベーションアップを図る。また、PC教室のPCの入れ替えなど教育のソフト面の充実も図る。</p>																																										
<p>(5) 令和7年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>令和7年度保護者負担軽減策は、国内修学旅行の実施(令和元年度入学生より、6年間の海外修学旅行の経験から国内へと転換)により、高騰化する修学旅行代金を引き下げることで費用軽減を図った。また、長期休暇中の大学進学講座の受講費・教材費の無料化、校外における宿泊学習を廃止(費用約¥25,000削減)している。これまでの進学ノウハウの蓄積と同時に、校内での大学進学講座を拡充させ、本校施設の完全活用により現役大学合格を実現している。ほかにも、新制服にともなう価格改定など、今後も積極的に負担軽減策を進める。</p> <p>【本校・本学園の学費減免、奨学金の負担軽減策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①奨学金制度：学業特待生制度、部活動特待生制度(全額免除、半額免除) ②「明德学園創立記念奨学金」給付型(7万円×1名、12万円×33名) ③「島正博奨学金」給付型(20万円×4名) ④「川口博奨学金」給付型(20万円×2名) ⑤兄弟姉妹学費減免 ⑥立正育英会 <p>※本学園独自の奨学金制度、「明德学園創立記念奨学金」「島正博奨学金」「川口博奨学金」は、年々、対象生徒および支給額の増額を図っている。</p>																																										
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>物価上昇に見合った賃金の上昇が達成できていない経済状況の中、保護者負担の大部分を占める授業料については、引き続き、京都府内の私立高等学校の平均授業料を下回る状況を実現する。授業料以外についても、短期・中期的に保護者負担削減策の追加策定に取り組んでいきたい。</p>																																										